日本語モダリティと中国語モダリティの対照研究



人間文化学部　　国際コミュニケーション学科
教授　　呉　凌非
研究分野　：言語学、言語処理、中国語教育

■研究課題（研究概要）
　言語処理の視点からは、文（sentence）は客観事実を表す部分（命題）とその客観事実を伝える際に話者が加えた付加情報の部分（モダリティ）から成り立っている。命題については日本語及び中国語から大量の言語データをもとにその意味を記述する意味構造を明らかにする。モダリティについては、まず分類を行い、日本語モダリティと中国語モダリティの対照研究を行う。
　近年は、中国語動詞の分類や否定表現、可能表現そしてデジタル文法論に重点を置き、研究を行っている。また教材づくりにも着手をしている。

研究業績等（概要）
論文
1988.10 ECAT-P英中自動翻訳システム」『情報科学』
2002.10「動詞の周期性及びその周辺」『現代中国語研究』
2018.6　On the Trace in“ba”Sentences and Its Pedagogical Effect.. Applied Chinese Language Studies IX. London. pp50-56.
計32篇
学会発表：
2007.10.28.「動詞の周期から見る了1と了2 」日本中国語学会
計9篇
国際学会発表
2019.8 11th　Asia-Pacific Consortium of Teaching Chinese as an International Language
アジア太平洋地域国際中国語教育学会シンガポール南洋理工大学.『怎样解释“只”与“只是”的区别？』
計12篇
著書
1999.4 「中国語を楽しもう」呉凌非　郁文堂
2000.12「日本語の語彙・文法」共著、くろしお出版
2004.1 「大学生のための基礎中国語」呉凌非　郁文堂
2010.4 「ジョイフル中国語」呉凌非 郁文堂
2012.4 「ジョイフル中国語」初級編　呉凌非　郁文堂
2015.6『漢語独特性研究と探索』共著　学林出版社（中国上海）
翻訳
1993.4　Situational Functional Japanese Vol.Ⅰ.Ⅱ.Ⅲ.　呉凌非　筑波大学ランゲージグループ